

コロナ感染

染谷 秀雄

注意はしていたつもりだったが一月中旬過ぎ遂にコロナに感染してしまった。今まで職場の周りの人が何人も感染したが自分は大丈夫だったので縁遠いものと感じていた。ましてO型は感染しにくいといった根拠のない話しにも一部信じていた面があった。また感染症の分類が一般的な感染症の五類に移行したことや接種もきちんと七回行ったことも安心に拍車をかけていたかもしれない。

土曜日に仕事上の集会があり翌日喉に違和感を感じたので、仕事に行く前に近くの医者で診てもらおうと軽い気持ちで行ったが、「喉が痛いので」と行っただけで、すぐに隔離され、検査の結果、間違いなく感染しています、と言われちよつとショックであった。家人からは「うるさくマスクをするように言われていたものの今まで罹らなかつたし、O型でもあるし、接種も七回受けているので大丈夫と思っていたことが、ここごとく打ちひしがれてしまった。九千円ですけど使いますか?と言われ使わないわけにはいかないので処方してもらった。薬の中心は「ラゲブリオカプセル」という大きなカプセルである。仕事を休んだ翌日になるとやはり熱が三十八度を超えた。寝ていても起き上がっても自分の身体ではない感じがして辛かった。しかし五日もするとだんだん元の体調に戻ってきた。この薬は確かに効くと思った。だが咳が治まったかと思っただら時々強い咳に悩まされた。結局、家内にも移ってしまい、階下の兄のところだけは朝晩の電話で安否確認をしたのを徹底したため感染させることなく済んだ。朝夕食後二回五日分服用。これがコロナをやっつける薬かと思うと大きいカプセルながらきちんと飲んだ。その効果は十分あった。今でも右腕のしびれが時折あり、これもコロナの後遺症の一種かとも思っている。